施工説明書

INAX

シャワートイレ700シリーズ

CW-770型 CW-750型 CW-740型
CW-771型 CW-751型 CW-741型

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
シャワートイレの取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告・・・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意・・・取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

アースを確実に取り付けてください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※アースの取付けは、電気工事店にご相談ください。

⚠注意

バスルーム内の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、ショート・発火の原因となります。

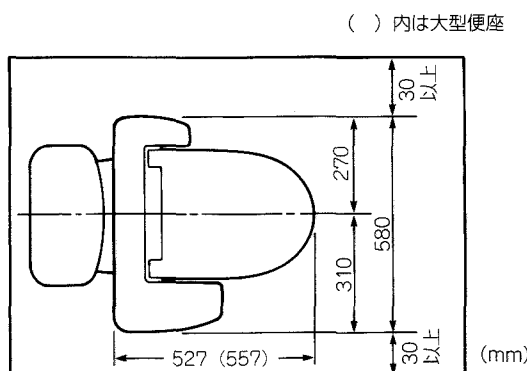
交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

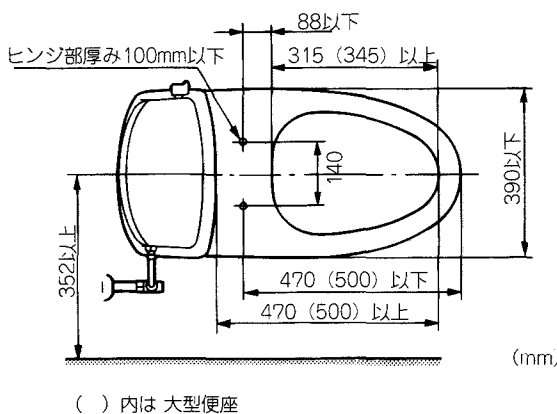
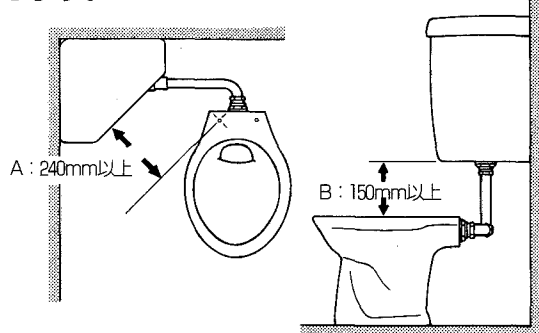
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。

施工前のご注意

■必要なスペースは？
必要なトイレスペースは下図のとおりです。
また別売のリモコンを設置する場合は、その施工説明書に従って設置してください。

■給水管への接続は？
●付属の本体給水ホースは0.95mです。給水取出位置は給水ソケットから0.8m以内です。
●フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合は、別売のフラッシュバルブ専用アダプターが必要です。（別売部品参照）

■取付け可能な便器は？
●取付けが可能な便器であるか、下記の寸法を確認してください。

●隅付ロータンク仕様の場合、下記のA・B寸法のどちらかを満たしていれば取付可能です。A・B寸法の両方とも足らない場合は、ロータンクの位置を上げる等の処置をお願いします。

■水質・水圧は？
●給水は必ず上水道に接続してください。
※水に不純物が多く含まれていると、電気部品や機械部品の耐久性が低下します。（海岸近くの井戸水には塩素イオン、硫酸イオン、浮遊物が特に多く含まれている場合があります。）
●給水圧力は0.059MPa {0.6kgf/cm²} 以上必要です。
※0.059MPa以下では正常作動しないことがあります。

■電源コンセントは？
●電源はAC100V、最大定格1,052W(CW-771)、1,049W(CW-770)、その他は672W（大型）、669W（標準）に適した電気配線をしてください。
●電源コードの長さは1.2mです。コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
●必ずアース工事（第３種接地工事）を行ってください。アースターミナル付コンセント（フラット型）が便利です。
※配線工事は電気工事店にご依頼ください。

施工時のご注意

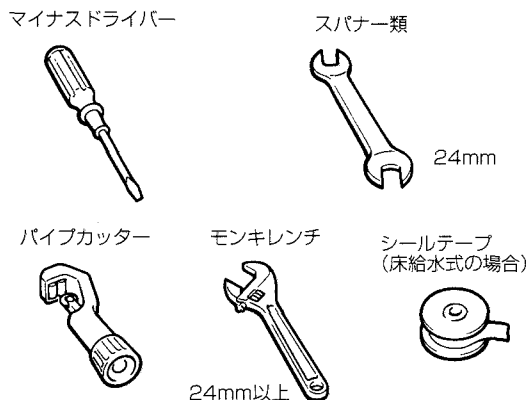
■電源は入れないで！
電源プラグは施工が終るまでコンセントに差し込まないでください。

■接続管を切断したら
サプライ管や接続銅管を切断したら、必ず水洗いなどで切粉を取り除いてから接続してください。
※**故障の原因となることがあります。**

施工後のご注意

■試運転は便座に触れて
試運転は必ず便座に触れて行ってください。
※便座には着座センサーがあり、便座に触れていないとシャワー・チャーム・ドライの機能がはたらきません。

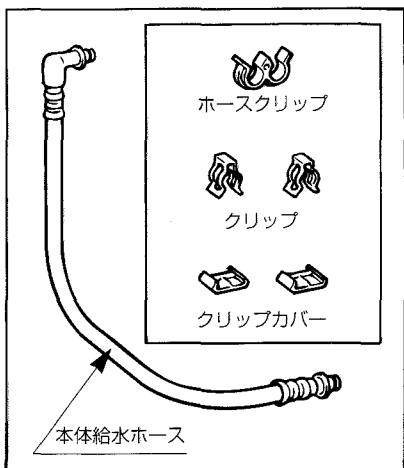
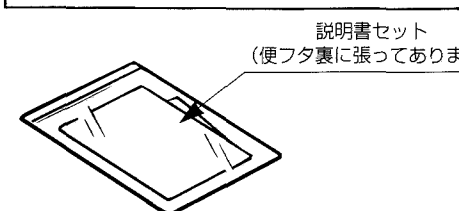
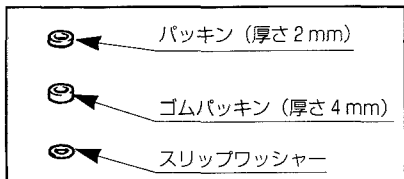
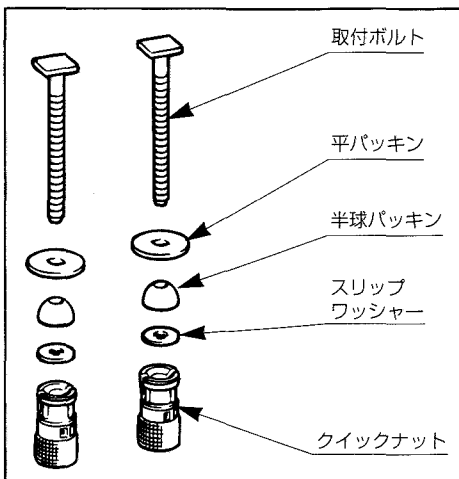
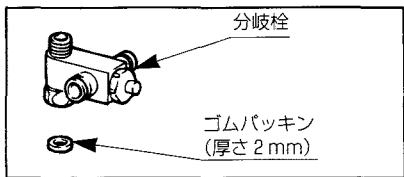
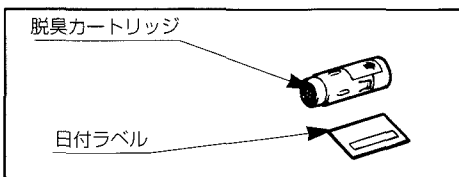
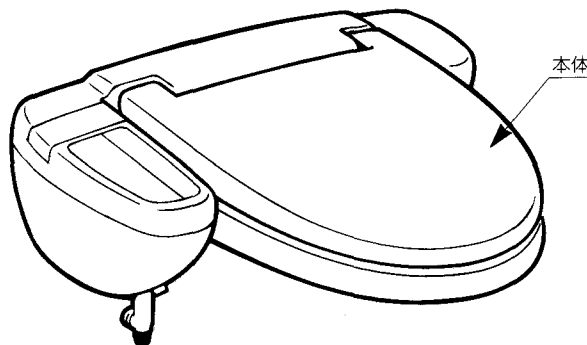
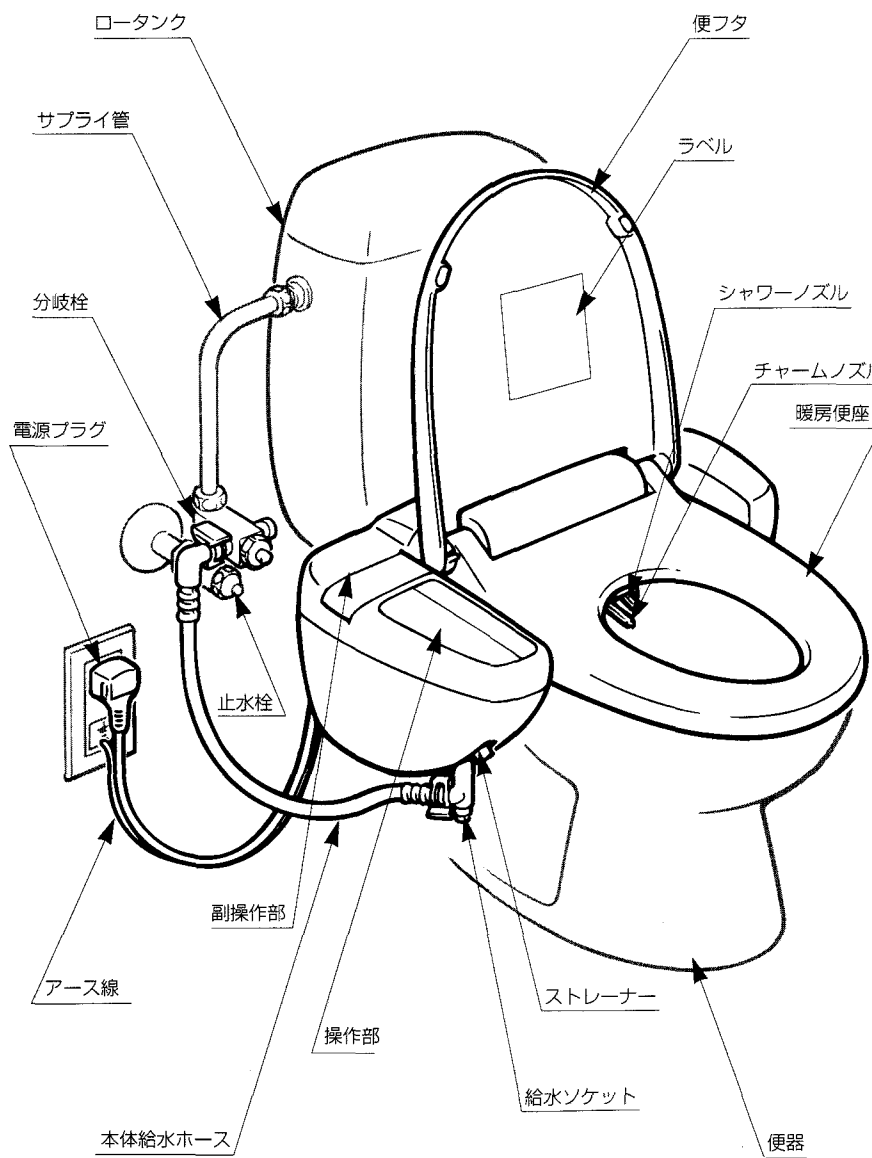
■長期間使用しない場合は
施工後、長期間使用しない場合は水抜きを行ってください。
※温水タンク内の水が汚れたり、冬期には凍結して**故障する恐れがあります。**
（「取扱説明書」参照）

準備工具

部品の確認

（梱包内容を確認してください。）

各部の名称

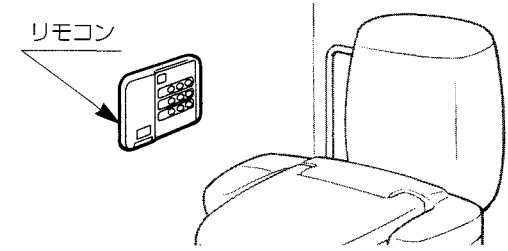
株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
仙台支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
高松支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
金沢支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。 ●お客さまの方に必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

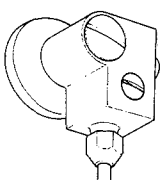
別売部品

■壁掛リモコン
(CWA-5)

シャワー洗浄をはじめ、各機能の操作が楽に行えます。

■「流せるもん」セット(リモコン付き)
(CWA-15)

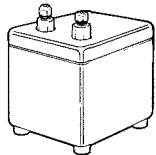
便器内を自動的に洗浄することができます。

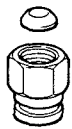
■壁配管用専用バルブ
(KS-3S)

専用バルブを壁配管することにより、シャワートイレ専用に給水します。

■フラッシュバルブ専用アダプター
(K-007、007F、008-1～6)

既設のフラッシュバルブを外し、専用の分岐栓付アダプターを取り付けて、シャワートイレへ給水します。
右記の対応表にて現在取り付いているフラッシュバルブを確認し、専用アダプターをお選びください。

■加圧ポンプ (600-190A)

水圧が低い場合
[0.098MPa{1.0kgf/cm²} 以下]に使用します。

■アダプター (200-6300)

フラッシュバルブ専用アダプターや加圧ポンプ、壁配管用専用バルブを使用する場合に必要です。

接続用フラッシュバルブ本体+チャッキ弁		接続用フラッシュバルブ本体のみ	
一般タイプ K-007	節水タイプ K-007F (90年6月以降の新形節水タイプ)	一般タイプ K-008-1、2、3、4	節水タイプ K-008-5、6 (90年6月以降の新形節水タイプ)

●専用アダプター対応表

既設フラッシュバルブ / 専用アダプター品番	INAX(一般タイプ)(78年7月以前)	INAX(一般タイプ)(78年7月～8月)	INAX(一般タイプ)(78年8月以降)	TOTO(一般タイプ)	INAX(節水タイプ)(90年6月以降)	TOTO(節水タイプ)
K-007	○	○	○	○	—	—
K-007F	—	—	—	—	○	○
K-008-1	○	—	—	—	—	—
K-008-2	—	○	—	—	—	—
K-008-3	—	—	○	—	—	—
K-008-4	—	—	—	○	—	—
K-008-5	—	—	—	—	○	—
K-008-6	—	—	—	—	—	○

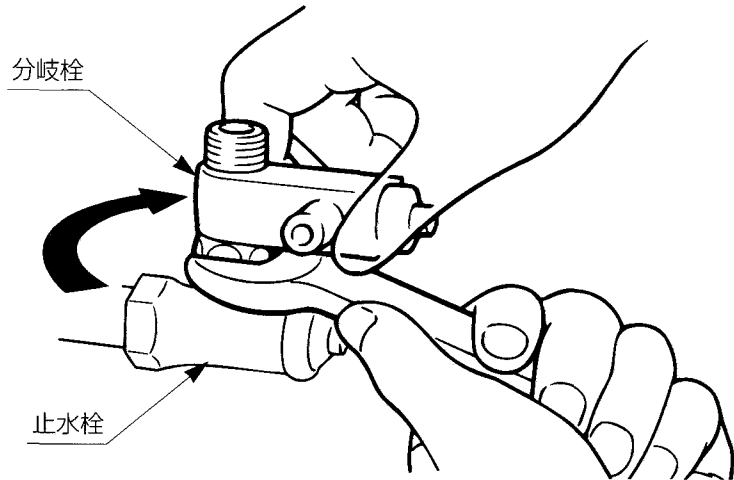
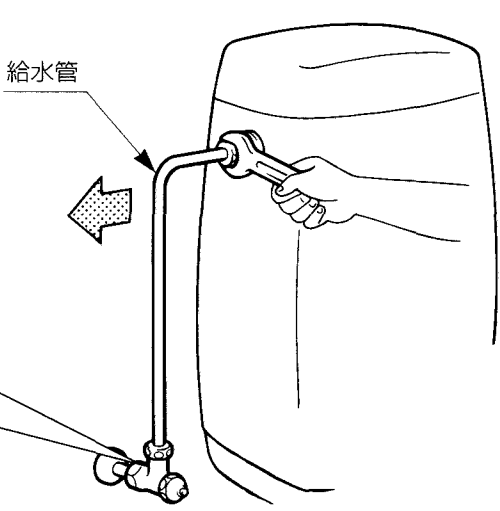
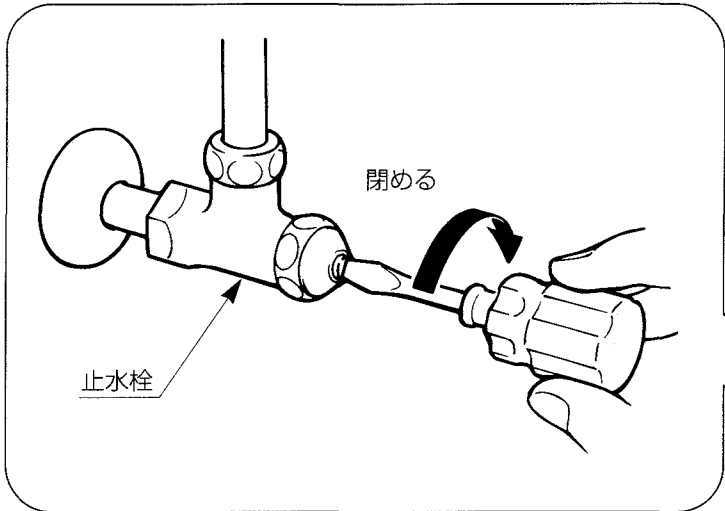
施工方法

給水をロータンクの止水栓から取る場合は、次の施工方法で行ってください。

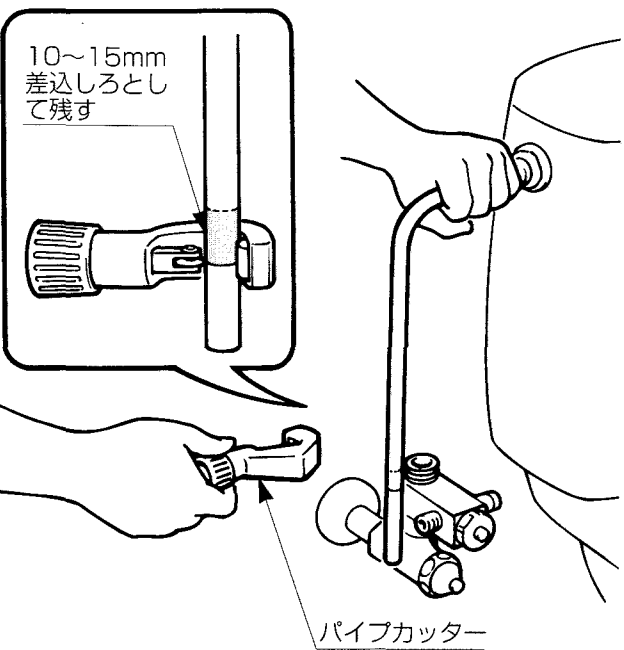
1 サプライ管の取外しと分岐栓の取付け

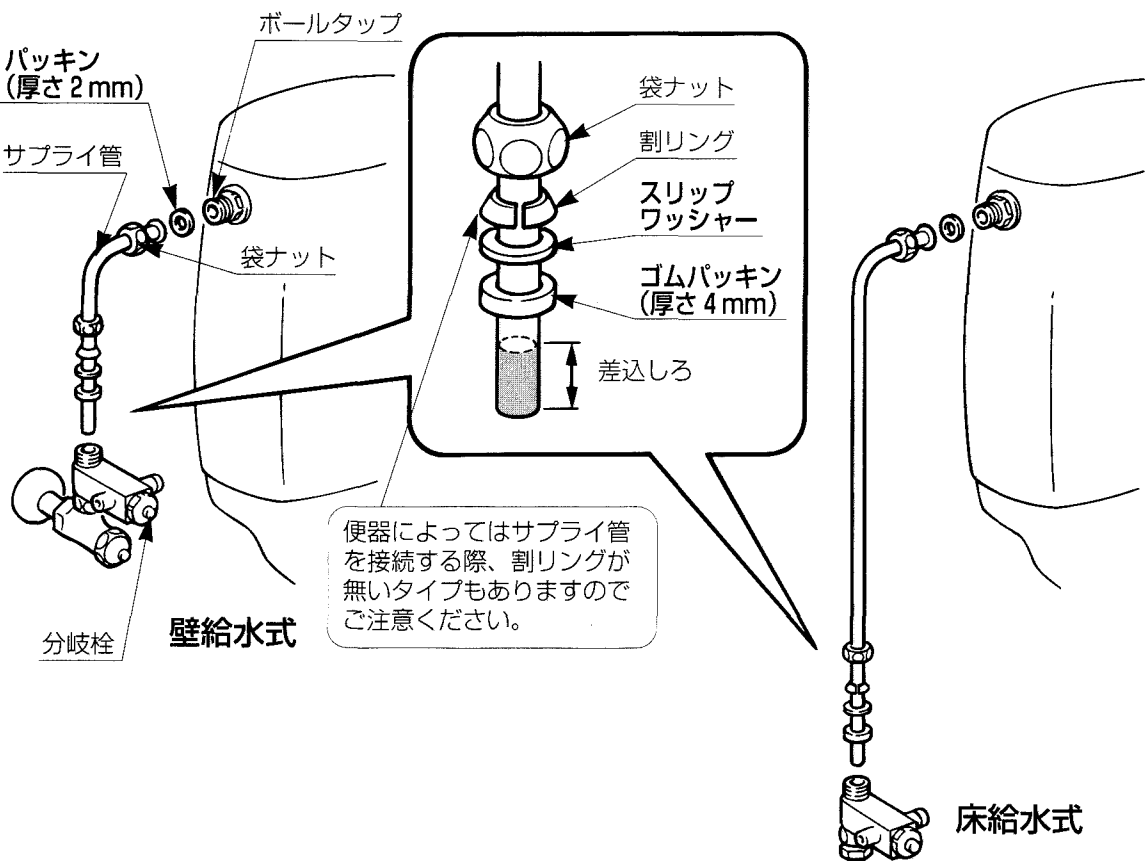
1 ロータンクの止水栓を閉めます。

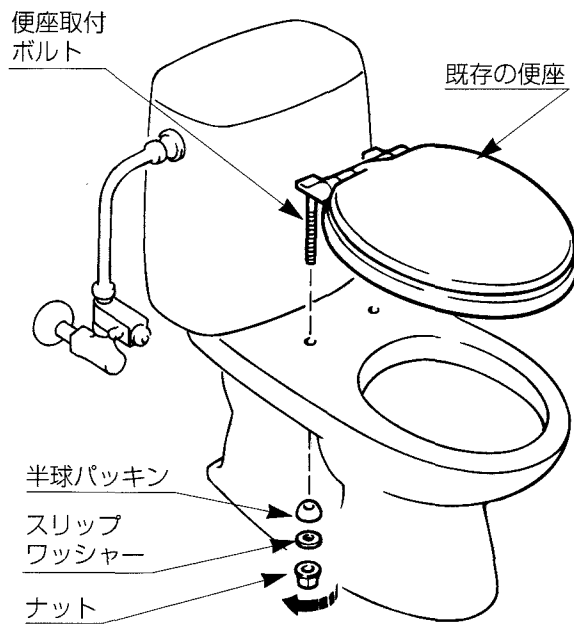
2 サプライ管を外します。

3 分岐栓を止水栓に取り付けます。

2 サプライ管の接続

1 サプライ管の端(ツバ出しのない方)を現物合わせで、**止水栓の差込しろとして10～15mm程度残しパイプカッターで切断します。**

注意
- ●サプライ管のツバ部は、絶対に切断しないでください。
- ●サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切粉を取り除いてから接続してください。

2 サプライ管を取り付けます。

注意
必ず、付属の新しいパッキン、スリップワッシャーに交換してください。

3 既設便座の取外し

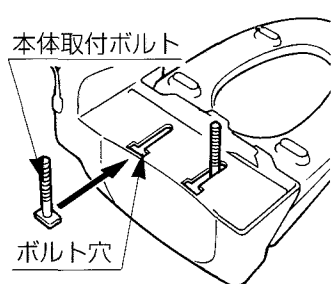
便器裏側の便座取付ボルトのナット、ワッシャー、半球パッキンを外し、便座取付ボルトを便座ごと取り外します。

(参考)
便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。ご注意ください。

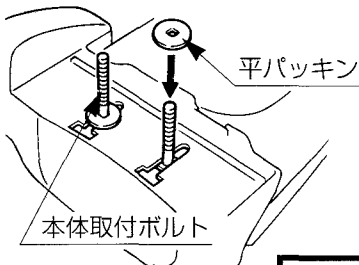
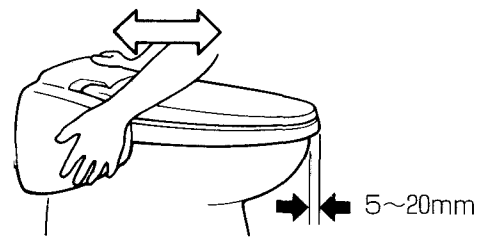
取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをおすすめします。

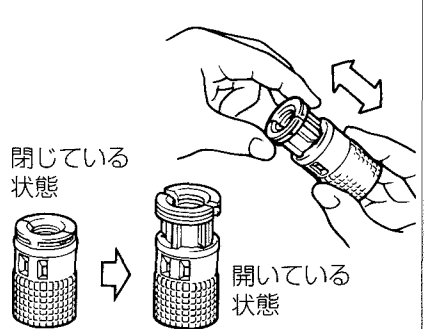
4 本体の取付け

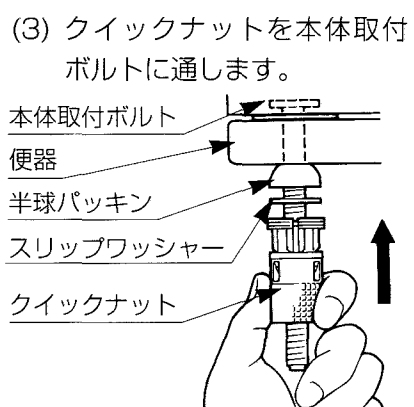
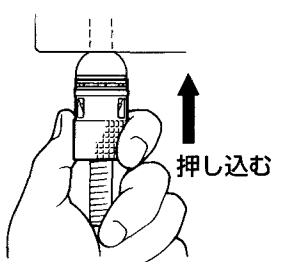
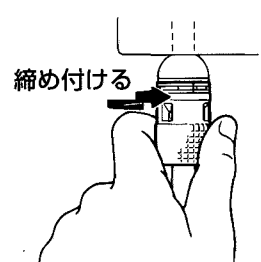
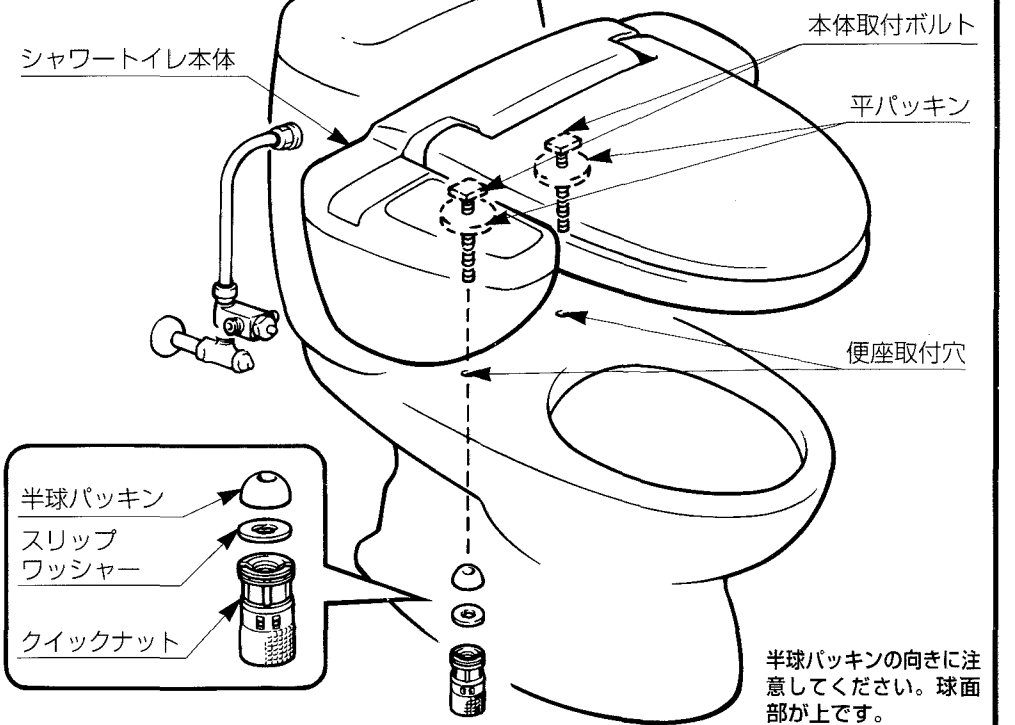
1 シャワートイレ本体を便器に設置します。

(1) 本体取付ボルトからクイックナット、スリップワッシャー、半球パッキン、平パッキンを取り外します。

(2) 本体取付ボルトを本体底部のボルト穴にはめ込みます。

(3) 平パッキンを本体取付ボルトにはめ込みます。

(4) 便器の便座取付穴に本体取付ボルトを差し込んで本体を設置します。

(5) 便座の先端が便器の先端より5～20mm出るように前後の位置調節をします。

2 シャワートイレ本体を固定します。

(1) クイックナットが開いていることを確認します。
もし、開いていない場合は、下図のように引っぱって開きます。

(2) 取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通します。

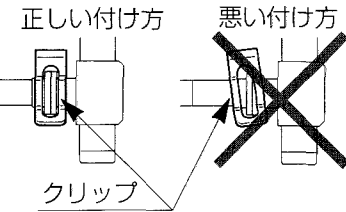
(3) クイックナットを本体取付ボルトに通します。

(4) クイックナットを上に押し込み、閉じさせます。

(5) クイックナットを手で回して、締め付けます。

注 意
半球パッキン、スリップワッシャー、クイックナットは必ず新品をお使いください。

5 本体給水ホースの取付け

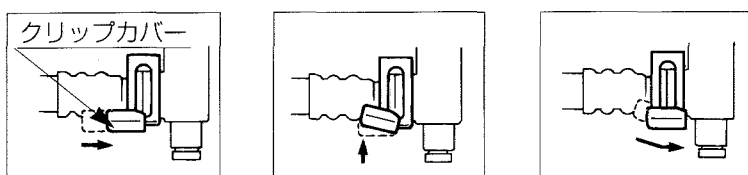
1 本体給水ホースを分岐栓と給水ソケットに接続します。

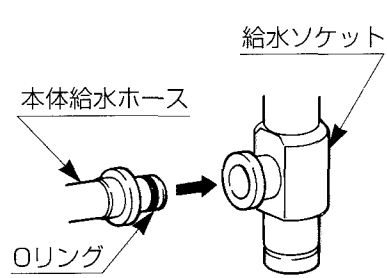
(1) 本体給水ホースを分岐栓に差し込みます。

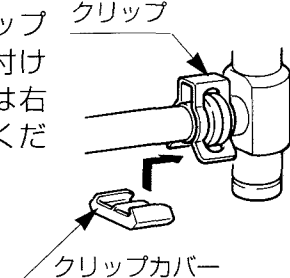
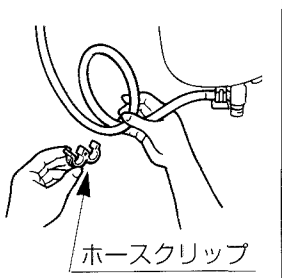
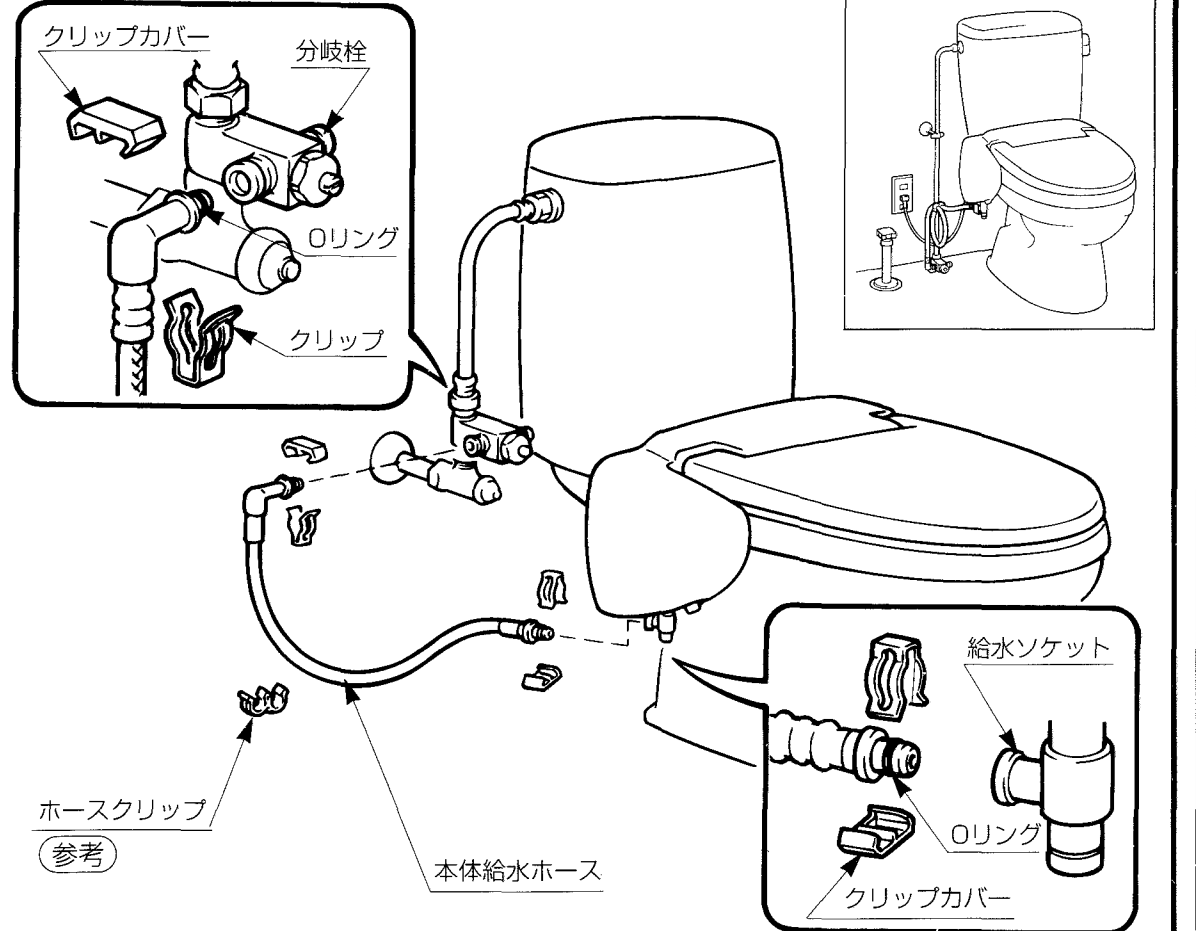
注 意
Oリングを傷つけないように注意してください。
Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

(2) クリップで本体給水ホースと分岐栓のツバ部を確実に固定します。

注 意
クリップは確実にはめ込んでください。
きちんとはまっていないと漏水します。

(3) クリップにクリップカバーを差し込んで固定します。

① クリップカバーをクリップに引っかけます。
② クリップカバーの後側を押し上げ気味に差し込みます。

(4) 本体給水ホースを給水ソケットに差し込みます。
給水ソケットは、360°の範囲で回転します。
回して向きを合わせてください。

注 意
給水ソケットは360°以上回さないでください。
※360°以上回すと漏水する恐れがあります。

(5) 分岐栓側と同様にクリップとクリップカバーを取付けます。クリップの向きは右のイラストを参照してください。

取付図

参考
※ 本体給水ホースが長すぎてホースを丸める場合にはホースクリップで固定することもできます。

6 水漏れ点検

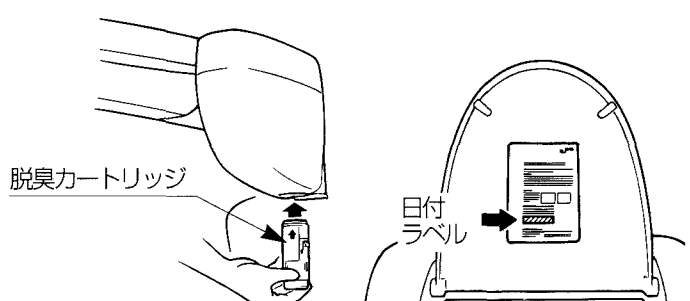
止水栓および分岐栓を開き、ロータンクのハンドルを操作して便器鉢内を洗浄したとき、各接続部の漏水がないことを確認します。
このとき、ハンドルの戻り具合、ボールタップの作動なども確認します。

注 意
排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

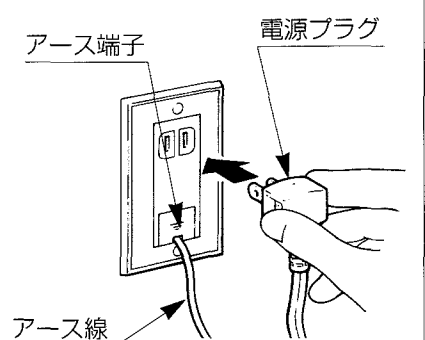
7 脱臭カートリッジの装着

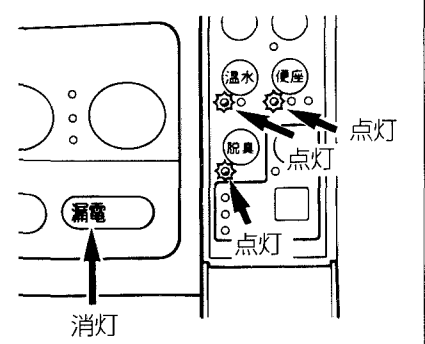
1 脱臭カートリッジを本体下部の取付口に差し込みます。

2 交換時期の目安として日付ラベルに日付を記入し、便フタ裏のご使用上の注意ラベルに張り付けます。

ワンポイント
脱臭カートリッジの寿命は通常使用で約7年です。

8 電源プラグの差込み

1 **本体のアース線をコンセントのアース端子に接続します。**

⚠ **警告**
アースを確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アース端子の取付けは、電気工事店にご相談ください。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、副操作部の便座と温水、脱臭の表示ランプが点灯し、漏電表示が消灯していることを確認します。

3 温水タンクの空だき防止のため、試運転までは温水スイッチを押して温水の表示ランプが消えた状態にしておきます。

試運転 便器への取付けが終ったら、次の要領で試運転を行います。

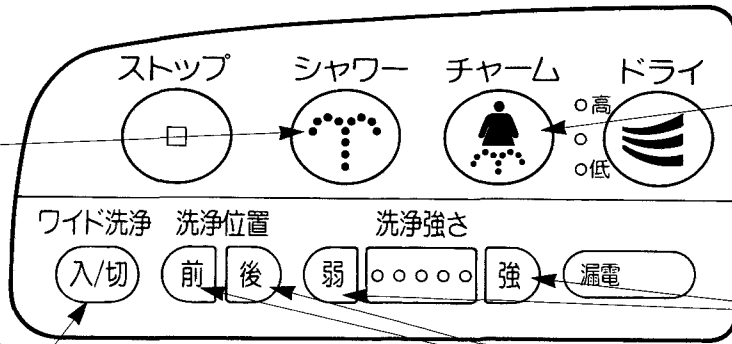
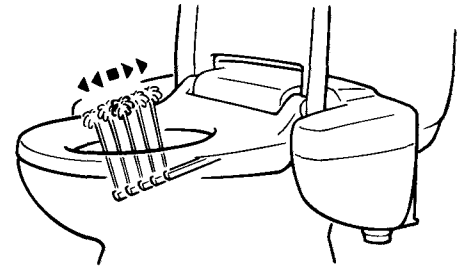
1 シャワー洗浄の確認

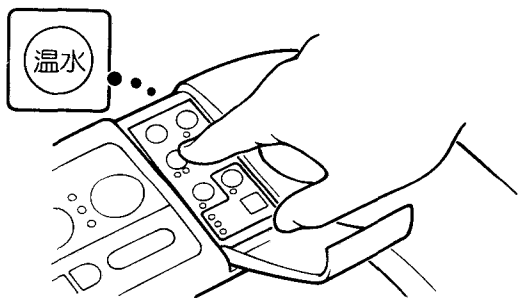
1 腕を便座にのせ、シャワースイッチを押して洗浄水が周囲に飛び散らないように手の平で受けます。初めはノズル穴から空気が出てきますが、1～2分後にはタンクが満水となり洗浄水が出てきます。

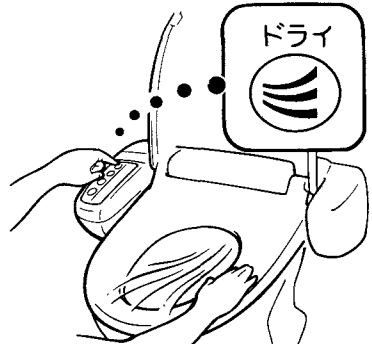
注 意
洗浄水は、セルフストップ機能によって1分後に自動的に停止します。したがって洗浄水が出てくるまで再度スイッチを押してください。
ストップスイッチを押すとシャワーが停止します。

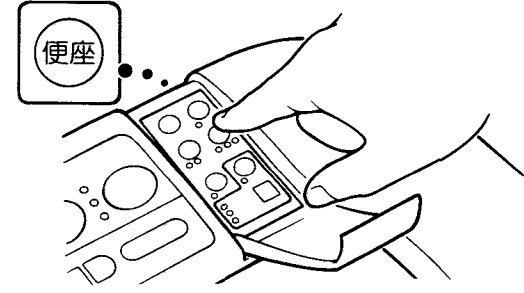
2 便座に触れながらチャームスイッチを押すと、チャームノズルが伸びてシャワーよりも35mm前に洗浄水が噴出します。
ストップスイッチを押すとチャームが停止します。

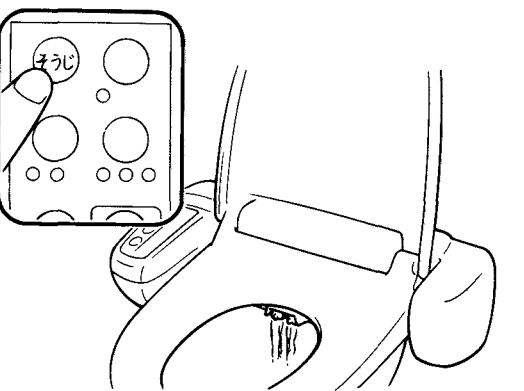
3 洗浄強さスイッチを押してシャワー・チャームの洗浄強さが変わることを確認します。

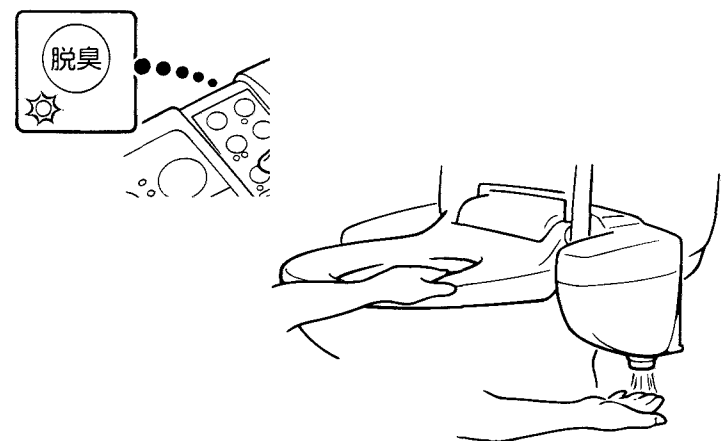
4 シャワー・チャーム洗浄中に洗浄位置スイッチ（前・後）を押して、洗浄位置がそれぞれ前後に移動することを確認します。

5 ワイド洗浄スイッチを押して洗浄ノズルが連続的に前後運動をしながら洗浄することを確認します。もう一度押すと、ワイド洗浄が停止します。

2 温水の確認

副操作部の温水スイッチを押して「低」⇒「切」（消灯）⇒「適」と切り替わることを確認してから「適」に切り替え、5～10分待ってから洗浄水が温かいことを確認します。

3 温風乾燥の確認（温風乾燥機能付の場合）

1 便座に触れながらドライスイッチを押すと「高」のランプが点灯し、便座後部より温風が吹き出します。
2 スイッチを続けて押して「中」「低」（冷風）に切り替え、温風温度が変化することを確認します。ストップスイッチを押すと温風が停止します。

4 暖房便座の確認

副操作部の便座スイッチの表示ランプ「低」が点灯していることを確認してから便座スイッチを押します。
1度押すと表示ランプが消灯します。さらに続けて押すと表示ランプの「高」が点灯しますのでそのまま5～10分待ち、暖かくなることを確認します。

5 ノズルそうじスイッチの確認

副操作部のそうじスイッチを押して、ノズル付近より約3秒間水が流れることを確認します。

6 脱臭機能の確認

1 副操作部の脱臭スイッチが「入」（表示ランプ点灯）になっていることを確認します。
2 便座に触れると本体下部の脱臭カートリッジから風が出ることを確認します。また便座から手を離すと、約1分後に風が止まることを確認します。

7 部屋暖房の確認（部屋暖房機能付の場合）

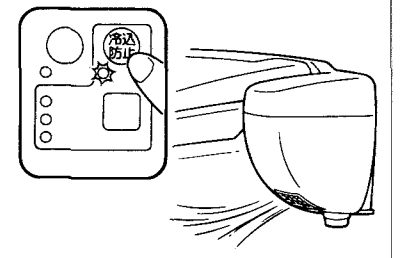
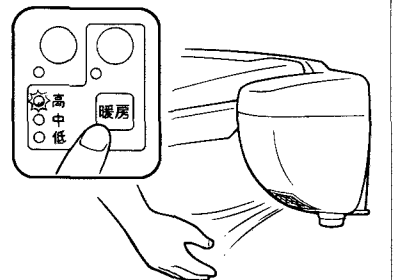
1 副操作部の暖房スイッチを押すと「高」のランプが点灯し、本体下部の温風口から温風が出ることを確認します。

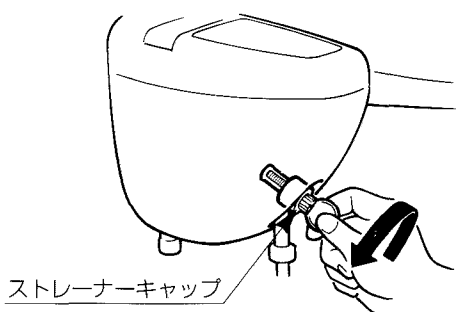
ワンポイント
トイレの室温が高い場合、約60秒間風が出て、自動的に停止します。

2 さらに押していくと、表示ランプが「中」「低」「切」（消灯）となり、温風が停止します。

3 冷込防止スイッチを押すと「入」のランプが点灯し、本体下部の温風口から温風が出ることを確認します。

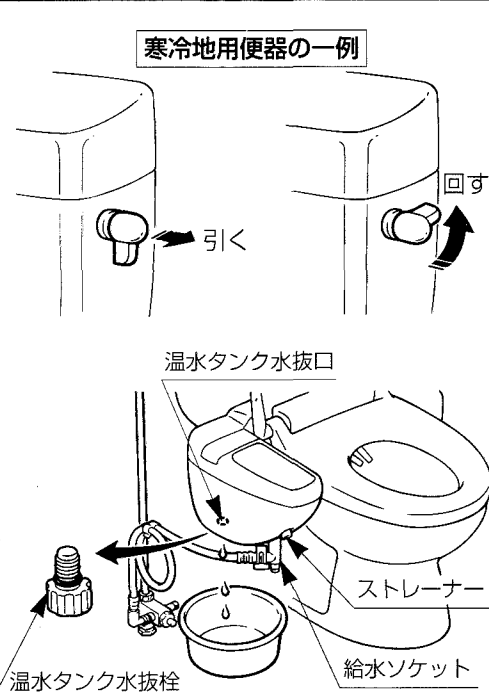
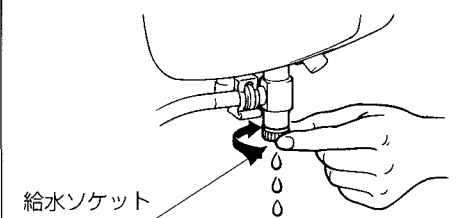
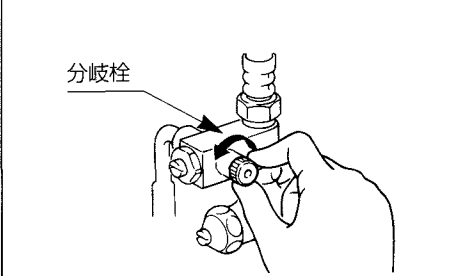
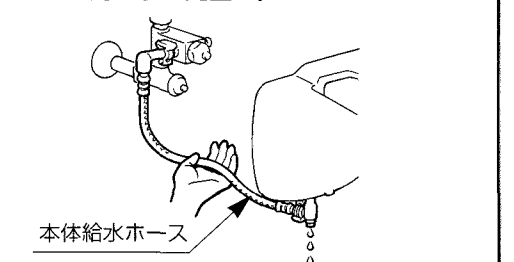
ワンポイント
トイレの室温が5℃以上の場合、約60秒間風が出て、自動的に停止します。

4 もう一度押すと、温風が停止します。

ストレーナーの掃除

ストレーナーにゴミ等が詰まると、適正な性能が得られなくなります。掃除をする場合は以下の手順で行ってください。
(1) 分岐栓の止水部を閉めます。
(2) 本体下部にあるストレーナーキャップを外し、掃除します。
このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。
(3) ストレーナーキャップを確実に締め、止水部を開けます。

長期間使用しない場合のご注意

施工後、長期間使用しない場合は、下記の要領で必要箇所の水を抜いてください。
※温水タンク内の水が汚れたり、冬期には凍結して**破損する恐れがあります。**

(1) 止水栓を閉めて、ロータンクへの給水を止めます。
（寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。）
(2) 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。
(3) コンセントから電源プラグを抜きます。

(4) 本体左手前にある温水タンクの下に洗面器等を置きます。温水タンク水抜栓を手で左に回して取り外し、温水タンク内の水を抜き取ります。
(5) 温水タンク水抜栓を取り付けます。

(6) 給水ソケットの水抜栓を手でゆるめて、本体給水ホース内の水を抜きます。

(7) 分岐栓の水抜栓を手でゆるめます。

(8) ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水も完全に抜くようにします。

(9) ストレーナーをゆるめ、ストレーナー内にたまった水を抜きます。
(10) 水抜きが終わった後、分岐栓の水抜栓と給水ソケットの水抜栓、およびストレーナーを手で確実に締め付けます。